

第37回 初期消火技術大会

- 1 日 時 令和8年9月15日（火）
12時30分受付 13時15分開会式
- 2 場 所 小浜市川崎3丁目
福井県漁連製氷工場前 小浜漁港用地

若狭地区防火推進協会
若狭消防組合消防本部

目 次

1	初期消火技術大会要綱	1
2	実施要綱	2
3	大会種目	
	(1) 屋内消火栓の部	
	操作要領	3
	全 体 図	4
	(2) 複合消火の部	
	操作要領	5
	全 体 図	6
4	大会会場案内図	7

初期消火技術大会要綱

1 大会日

令和8年9月15日（火）小雨決行
（雨天中止の決定 8時30分）

受付 12時30分

開会式 13時15分

競技開始 13時30分

（競技説明は予めYouTube動画で行い、競技前に展示を行う）

競技終了 14時45分

閉会式 15時00分

2 主催

若狭地区防火推進協会
若狭消防組合消防本部

3 場所

小浜市川崎3丁目 福井県漁連製氷工場前 小浜漁港用地

4 大会種目

(1) 屋内消火栓の部	男子（2名1組）
	女子（2名1組）
(2) 複合消火の部	男子（2名1組）
	女子（2名1組）
	混成（2名1組）

5 表彰

各種目とも最優秀賞、優秀賞、入賞で表彰する。

実 施 要 綱

1 目 的

若狭消防組合管内各事業所の自衛消防隊および一般住民の通報、消火技術の向上と初期消火活動の体制を確立し、もって防火意識の高揚を図ることを目的とする。

2 大会種目

(1) 屋内消火栓の部（2名1組）

屋内消火栓ボックス内に収納されたホース2本を延長して初期消火を行う。

(2) 複合消火の部（2名1組）

煙ハウスを通過し人命救助を行なった後、初期消火を行う。

3 審査要領

審査は、消火作業所要時間および動作について行う。

所要時間は、消火に要した時間1秒を「1点」とする。

動作は、スタートからゴールまでの間、数項目について「減点」する。

4 順位の決定

所要時間の点数と動作による減点数を合計し、点数の少ないチームを上位とする。

同点の場合は、タイムの速いチームを上位とする。

所要時間の点数も動作による点数も同じ場合は同位とする。

屋 内 消 火 栓 の 部 操 作 要 領

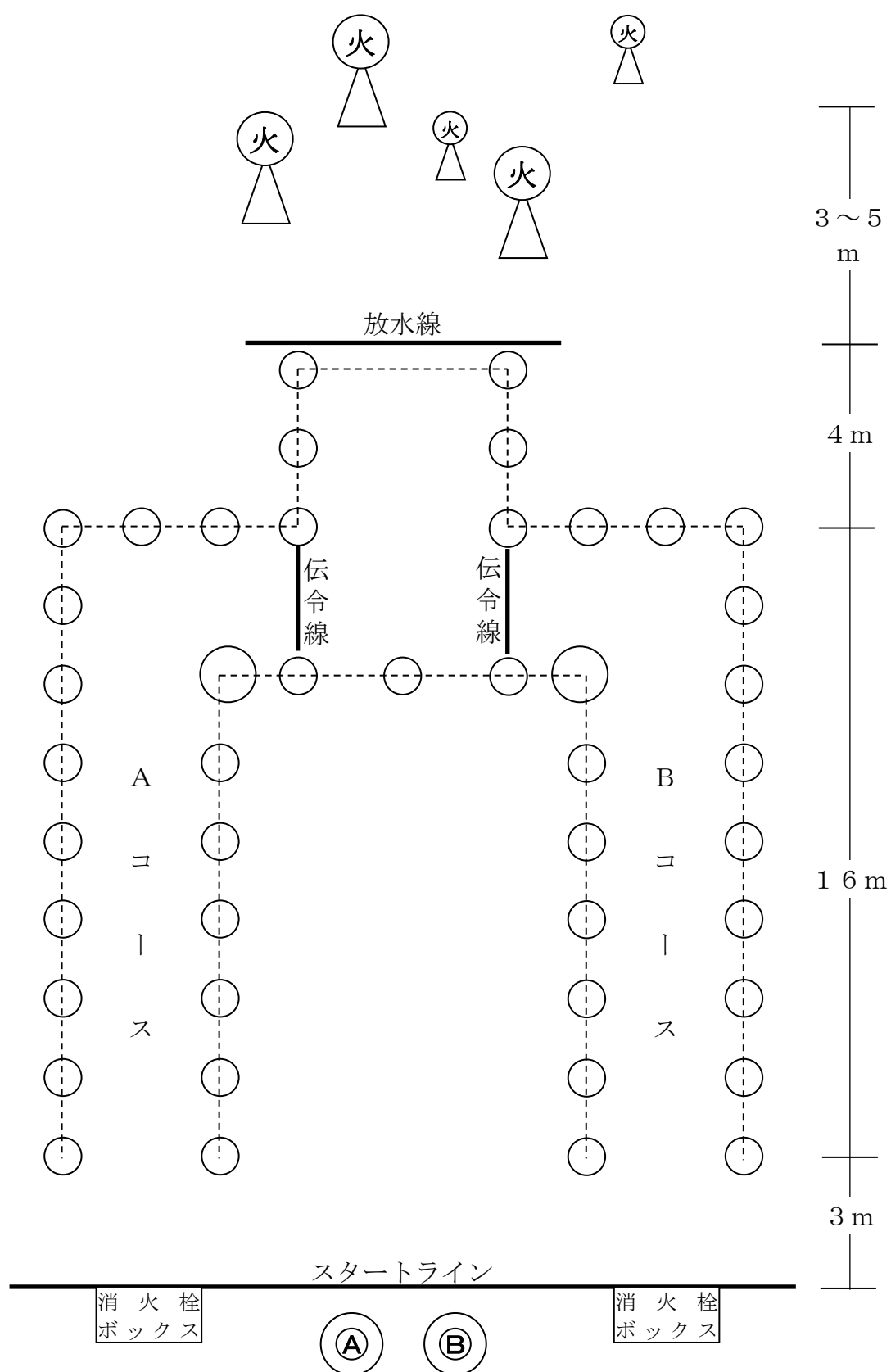
この競技は、操作員2名が屋内消火栓を使用し、標的への注水活動等を一連の競技要領とし、その所要時間および操作技術を競うものとする。

※ 所要時間の測定は、係員の笛の合図から標的の消火合図までとする。なお、消火合図とは、係員の赤旗の合図があった時をいう。

1. 操作員は、あらかじめ保安帽および手袋（軍手）を着装し、スタート地点で整列する。
2. スタートラインは、ゴールラインを兼ねる。
3. 競技行動

	A 員（リーダー）	B 員（操 作 員）
競 技 開 始	競技開始の笛の合図後、大声で「火事だ」と叫んだ後、消火栓ボックスへ行き、B員と協力してホース展張準備をする。	競技開始の笛の合図後、大声で「火事だ」と叫んだ後、消火栓ボックスへ行き、起動ボタンを押し「起動よし」と合図し、ボックスの扉を開け、筒先とホースをA員が取り出しやすいよう補助する。
ホ ー ス 延 長	B員の補助を受けながら筒先および第2ホースを取り出し、脇に抱えた後、B員の「よし」の合図で指定通路を通って火点に向かい、B員が第1ホースを延長した時点で第2ホースを放水線まで延長する。	A員の筒先およびホースの取り出しの補助後、第1ホースを取り出し脇に抱え余裕ホースをとった後、「よし」と合図し、ホースをA員と協力しながら延長し、伝令線より火点側で停止する。
放 水 始 め	筒先を標的に向けて注水姿勢をとると同時に、B員に対し右手を真上に挙げて「放水始め」と合図する。	A員の「放水始め」の合図に対し、「よし」と合図し、消火栓ボックスまで戻り、送水バルブを全開にし、延長されたホースの屈曲などを点検しながらA員の反対側後方へ行き、ホースを持って注水操作の補助をする。
消 火	B員の注水補助を受け、標的を落とす。（5箇所）	
放 水 止 め	係員の消火合図の赤旗を確認後、B員に対し、「放水止め」と合図する。	A員の「放水止め」の合図に「よし」と合図し、消火栓ボックスまで戻り、送水バルブの閉鎖を行った後、伝令線に戻る。
ゴ ー ル	B員が伝令線に戻ったら筒先をその場に置き、駆け足でゴールラインに戻る。	A員の後方を駆け足で進み、ゴールラインに戻る。

屋内消火栓の部全体図



複 合 消 火 の 部 操 作 要 領

この競技は、操作員 2 名により「地震発生による火災発生」を想定し、倒壊家屋からの人命救出・初期消火等を一連の競技要領とし、その所要時間および操作技術を競うものとする。

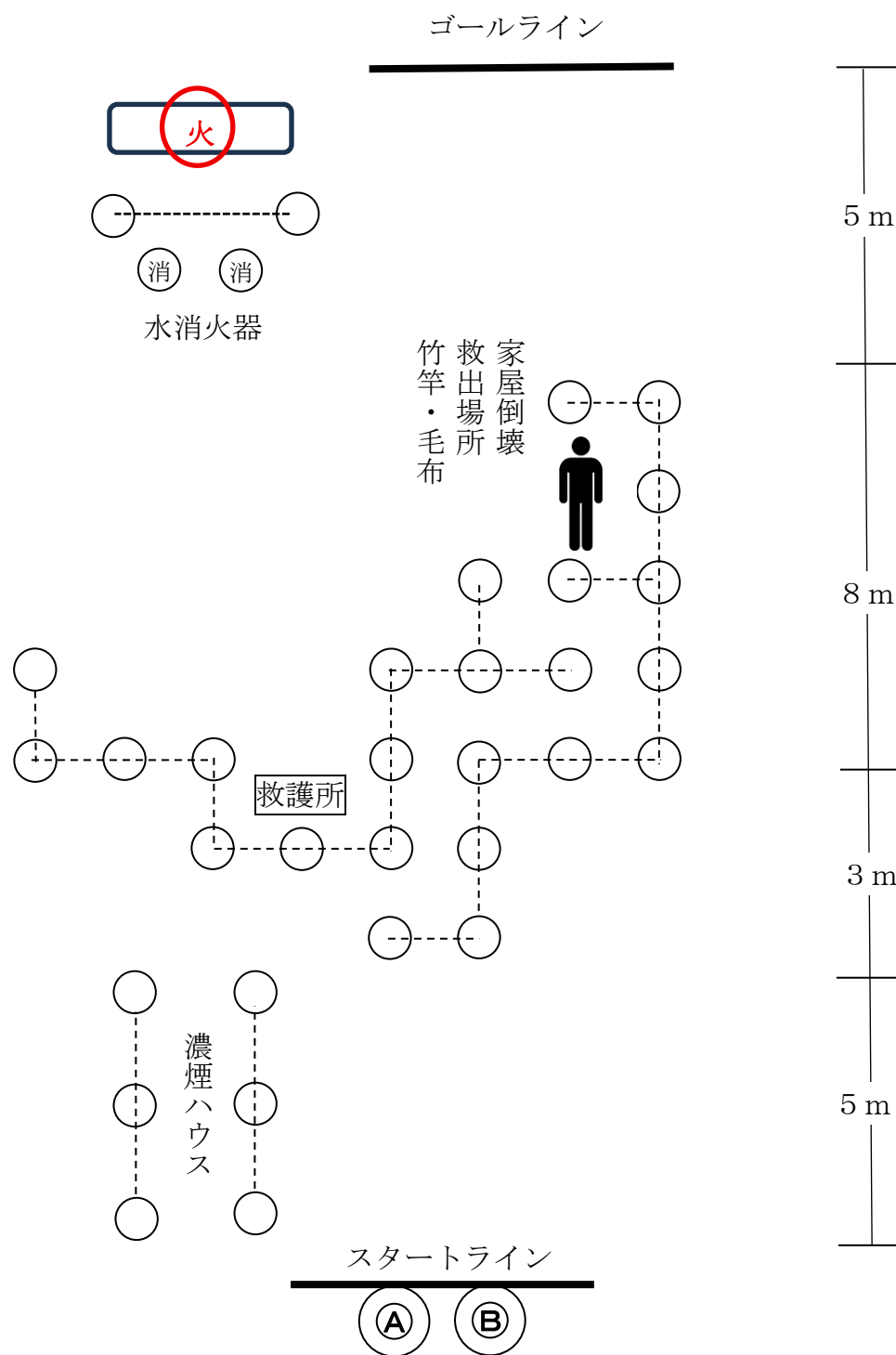
※ 所要時間の測定は、係員の笛の合図から係員の消火の赤旗までとする。

1. 操作員は、あらかじめ保安帽、タオルおよび手袋（軍手）を着装し、スタート地点で整列する。

2. 競技行動

	A 員（リーダー）	B 員（操 作 員）
競 技 開 始	競技開始の警笛で、「救出始め」と指示後、B 員とともに濃煙ハウスを通過する。	A 員の「救出始め」の指示に「よし」と合図し、A 員とともに濃煙ハウスを通過する。
人 命 救 助	濃煙ハウスを通過後、B 員とともに救出場所に移動し、「救助」と指示後、B 員と協力して応急担架を作成し、負傷した患者（人形）を担架に乗せ「搬送」と指示した後、救護所まで搬送する。 搬送後、「救出終わり」と B 員に指示する。	濃煙ハウスを通過後、A 員とともに救出場所に移動し、A 員の「救助」の指示に「よし」と合図し、A 員と協力して応急担架を作成し、負傷した患者（人形）を担架に乗せ、A 員の「搬送」の指示に「よし」と合図し、救護所まで搬送する。 A 員の「救出終わり」の指示に「よし」と合図する。
初 期 消 火	患者搬送後、B 員に「消火始め」と指示し、消火器を使用して消火する。 係員の消火の合図後、ゴールに入る。（消火器はその場に置く）	患者搬送後、A 員の「消火始め」の指示に「よし」と合図し、消火器を使用して消火する。 係員の消火の合図後、ゴールに入る。（消火器はその場に置く）

複 合 消 火 の 部 全 体 図





会場案内図

(小浜市川崎3丁目)

